

神戸大学医学部附属病院

食道胃腸外科

指導担当医

後藤 裕信（助教）

実習概要

概要

神戸大学病院における4週間の実習を通じて、より実践に近い外科知識や手技を学ぶ。主治医団の一員として受け持ち症例を担当し、入院、手術、術後管理を通じた実習を経験する。外科医の実際の診療に触れることで、卒業後の進路選択に役立てる。

医療面接・身体診察

主治医団に配属され、担当症例の日々の回診を通じて、医療面接および身体診察の基礎を学ぶ。周術期管理におけるアセスメントや対応などについても主治医団とディスカッションを行う。

カルテ記載

4週間の実習の間に受け持った症例1例について、病歴要約作成の手引きを参照し作成する。手術記録に関しては、癌のStageの記述や、再建を伴う手術の場合は再建図を記載する。病歴要約、手術記録は最終版提出前に指導医による添削、指導を受ける。

症例プレゼンテーション

症例検討会において担当症例の系統的なプレゼンテーションを行う。カンファレンス以外でも担当症例について簡単なプレゼンをすることで症例に対する理解を深める。

その他（特色など）

手技については術中のみならず縫合実習、ドライボックスでの鏡視下縫合のトレーニングも経験する。

学生へのメッセージ

臨床実習 1 では経験できなかったような、より実践に近い外科知識や手技を経験しましょう。

鏡視下手術やロボット手術を中心とした最新の低侵襲外科を、4 週間しっかりと学び、今後の学習、そして卒業後の診療の糧としてください。